

久留米大学

附設中学校
附設高等学校

校歌

大石 亀次郎 作詞
藪 文人 作曲

(解)

一、高良山下の 学園に

万朶の桜 咲き そろい
若き 血潮の 高鳴るを
見ずや 希望の揺籃地

二、江月さえて 悠久の

流れは 遠し 千歳川
高き 彼岸の 光明を
見ずや 試練の理想郷

三、修羅道の世を 救うべく

平和の 偉業 任として
築く 不朽の 真善美
見ずや 我等の大使命

九州の名山の下、環境の優れたこの学校に

枝一杯に美しい花（粒揃いの秀才は集まった）

意気高く理想に燃ゆる我々青年の

この揺りかごで育ち行く我らの雄々しき姿を見て居て下さいよ

月光は皎々と冴えて水面を照らす

永遠に盡きせぬ千歳の川の不休の姿

その燦たる月色輝く光明を逐うて日々研く

この鍛錬努力の理想境に我らの奮闘を見て下さいよ

汚濁争乱の人の世を救うために

平和幸福の建設この大事業こそ我らの任務だと自覚して

學術の真理、道徳の至善、芸術の審美

之を不朽に築いて行く覚悟と我らがこの大任務の遂行とを見守って居て頂き度い